

会報

シルバー やまがた

第138号 令和2年4月1日発行

(公社)山形市シルバー人材センター
正会員数1,248名 賛助会員 41個人・70団体(2月末現在)



新装やまぎん県民ホール（広報部会撮影）

— 内容紹介 —

P2 令和二年度を迎えて

P3 就業相談を実施

女性部会だより

P4 広報部会だより

会員の状況・就業状況

P5 わが街自慢

P6～7 会員のひろば

P8 就業会員を訪ねて

P9 人あり・技あり・心あり

新入会員紹介

P10 事務局だより

ホームページでもご覧いただけます。

山形市シルバー人材センター

検索



令和二年度を迎えて

理事長 長 瀬 洋 男



令和元年度は、平成二十七年に策定された「新中期事業計画」の最終年度にあたることから、「新中期事業計画策定委員会」において新たな「中期事業計画」を策定し、理事会の承認を頂いたところです。

今後この計画に基づき、引き続き、「自主・自立、共働・共助」を基本理念に、就業を通して高齢者の生きがいの充実と、地域社会の活性化に取り組み、事業の質的向上と量的拡大を図ってまいります。

当センターの会員は令和二年一月末で千二百三十二人と、前年度同期と比べて八・五%増となり、契約実績は、五億円を超える状況にあります。しかし、

会員の平均年齢は高くなってきており、まだ女性会員の割合は低く、派遣事業においても制度改正に伴う対応が必要になるなど、課題もあります。

会員の拡大については、全国的に高齢者人口が増加するなか、会員数が伸び悩んでいるため、全国SC事業協会では「第二次会員一〇〇万人達成計画」を策定、取り組むこととなりました。会員は公益社団法人を構成する基本であることから、当センターでも「第二次会員一〇〇万人達成計画」を策定、これを目指し、会員拡大に取り組んでまいります。

就業の場の確保は、会員拡大と合わせて事業運営の基本です。

社会、地域、会員のニーズを踏まえながら、就業機会創出員を中心に新しい就業先の開拓に努め、多様な就業の場を確保していきます。

なかでも、シルバー派遣事業は高齢者の多様なニーズに応え、就業を確保するための有効な手段であるとともに、発注者の指揮命令の下での就業が可能であるため、受注できる仕事が増え、また、新たな自主財源として活用できることから、積極的に就業拡大を図ってまいります。

当センターでは、「三年間事故ゼロ」運動に取り組んでおりますが、残念ながら年に数件の事故が発生しています。「安全は全てに優先する」、安全就業は最重要課題であることから、引き続き「事故ゼロ」の取り組みを継続してまいりますので、

就業中のルールの徹底はもちろん、就業前の安全確認、行き帰

りの交通安全、日頃の体調管理も含めて、会員の皆様にも『安全就業の推進』に、ご協力をお願いいたします。

今年度も、一層の機能強化と効率的な事業運営を推進するとともに、会員並びに関係各位のご支援・ご協力をいただきながら、公益社団法人として高齢者並びに地域社会の期待に応えられるよう、シルバー事業の推進に取り組んでまいります。



就業相談の開催について

事業部会長 高野 昭英

事業部会では、毎月第二水曜日の午後一時半から、就業相談日を設けて「未就業会員の減少」を目的に就業相談を開催しております。

シルバーへの新規入会者は近年、六十歳代前半が減少し、六十五歳から七十歳までの入会者が増加傾向にあります。これは退職年齢が年々延長傾向にあるためと考えられますが、現役を終えられた高齢者への就業のニーズは社会から広く求められています。

シルバーに入会し現役就業で培ったスキルを活かした仕事をしたい、また新たな仕事にチャレンジしたい、短時間で働きたい等、入会の動機は様々だと思います。就業相談では健康状態や希望する仕事

の内容をお聞きしながら就業先を紹介し、就業へのステップを支援できればと思っております。また適正就業を終えられた会員の方が、新たな就業先を検討している等の場合も相談に応じております。

ご家族の介護や体調不良で思うように就業につけない会員の方もいると思います。気軽に相談においでいただきたいと思います。

自分の望む仕事と、紹介された仕事があまくマッチングできないこともあると思いますが、ぜひ相談にお越しいただき次への一助となるよう、事務局と一丸で取り組んでいきたいと思えます。

女性部会だより

女性部会の事業も、シルバー会員の温かいご支援をいただき順調に遂行しています。役員一同心より感謝いたします。役員担当の活動報告をいたします。

バザーや文化祭では目標売上を決めて頑張りました。会員の協力で山形学園へ五万円を寄付することができました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございます。安達 つや子

介護保険制度勉強会を受けて、私は両親の介護経験があまり、少しは理解していたつもりでしたが、改正されているところもあり大変勉強になりました。

設楽みつ

八月と十月にバザーが実施され、また十月の創作作品展示即売会では、球根や盆栽、バッグ等会員の皆様からの創作品等が格安で販売され、来場者から好評でした。ありがとうございます。

高田 さと子

初めて尾花沢へ菅笠作り

の勉強に行きましたが、失敗の連続でした。やっと完成した時の達成感最高でした。小林 久子

折り紙教室は楽しく、作った紫陽花の花は文化祭に展示されて会場が華やかでした。東海林れい子

「百聞は一見に如かず」シルバー会員のすばらしい作品に感動!!女性部会の創作即売会も好評でした。大友 智恵子

施設見学会は市民号に乗って野草園を散策、楽しい一日でした。塩野 美智子



女性部メンバー

広報部会活動だより

広報部会長 佐藤 明

会報「シルバーやまがた」をご愛読いただき深く感謝申し上げます。

令和二年度は、当センターが設立され四十周年という節目の年です。会報の発行回数、百四十回を数えたいへん歴史を感じます。

記念する年ということ、シルバーの先人達の築いた歩みをひもとくため、三十周年記念誌（第百号（平成二十二年十月一日発行と合作）を一読させていただきました。第百号の巻頭を飾った「一〇〇号を迎えて」の記事に触れ、心を新たにしました。会報の目指す目的は、組織運営情報を的確に伝達することに加え、会員相互の輪を広げ、地域班との連携により、会員のため

の皆様にあえられる機関誌として部会員一同取り組んでまいりますとのこと。現広報部会も、ワンチームとなってこの内容に沿った誌面作りを目指しております。表紙も含め、良い写真等を取り入れ、「ビジュアルな誌面作り」を目指してまいります。

最後に、これまで会報作成にご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。今後とも広報部会をよろしくお願い申し上げます。



女性部会 折り紙作品

会員の状況・就業状況について

平成31年4月から令和2年2月末まで

① 会員の状況

月 別	入会者数	退会者数	当月末会員数
31. 3. 31			1,160
4 月	52	127	1,085
5 月	19	9	1,095
6 月	15	0	1,110
7 月	13	2	1,121
8 月	27	2	1,146
9 月	23	0	1,169
10 月	20	0	1,189
11 月	15	0	1,204
12 月	18	0	1,222
1 月	10	0	1,232
2 月	16	0	1,248
合 計	228	140	

② 就業状況

区 分	職 群	就業延人員	備 考
一般受注	技 術 群	172	経理事務、パソコン作業 など
	技 能 群	11,460	襖張り、障子張り、剪定 など
	事務整理群	4,013	賞状筆耕 など
	管 理 群	46,410	駐車場管理、施設管理 など
	折衝外交群	985	量販店での作業 など
	一般作業群	39,557	除草、草刈り、清掃 など
	サービス群	840	病院での洗濯、らくらく応援隊 など
	計	103,437	
独自事業	自転車再生	384	
	刃物研ぎ	4	
	即売会	12	
計	400		
派遣事業		23,213	
合 計		127,050	

第四地区

和田 功次

炭焼き藤太の長者話が伝わる池
昔々、みちのくの村に、炭焼きをして暮らしている貧しい藤太と云う若者がいた。嫁など来る者もない。それでも真面目な藤太は、自分の山で作った炭を売りに町に出かけてきた。藤太の作る炭は質が良いと評判で飛ぶように売れた。しかしどんなに沢山売っても所詮、炭は炭。その日も、わずかに得た小銭を食べ物に代えると、藤太はいつもの道をとぼとぼと山へ帰ろうとした。すると、「もし……」という声がある。思わず後ろを振り返ると、今まで見たことのない様な美しい娘が立っていた。実は私、人を捜しているのですか！ええ炭を焼いている人なのですけど、この村に住んでいる藤太様です。やっぱりあなた様でしたか。その娘は、これで私たちが住む屋敷を造ってください、大きな袋を取り出して藤太に渡した。中を見た藤太は、

金！これなら炭の窯のそばにいっぱいあるよ。炭焼き窯の裏山に行ってみると、信じられない量の金塊がゴロゴロしていた。そして藤太と娘は夫婦となり、藤太は金を都に運んで、あつという間に巨万の富を得て大金持ちとなった。藤太の長男吉次は通称金売り吉次として歴史に名を残す人物となった。この利益がみちのく平泉の黄金文化ありと云う繁栄を支える基礎となった。いつの頃からか、この村を金生み村といい、現在の宮城県金成町となりました。



六日町鴻乃池

地域紹介

わが街自慢



第九地区

深瀬江里子

私共の第九地区は市街地の北部、桧町・馬見ヶ崎・土樋・梅野木前などが包括されている地域です。北町の北部水田地帯が新しく宅地造成されたところですから、スーパーや量販店、飲食関係のお店や個人の住宅が並ぶ中、ちよつと大通りを曲がると田んぼや畑が現役で活躍している自然あふれるところです。さて、わが街の自慢「桧葉の木公園」をご紹介します。この公園は市内の公園の中でも広さは五本の指に入るのではないでしょうか。桧葉の木はヒノキの別称ですから、町名の桧町から命名されたのは間違いありません。「桧町」という町名はいにしえ両所宮の近くに大きな桧の古木があったことから付けられたと言います。

（現在は出水されていない）などがあり、北市民プール（七・八月営業）や公民館も併設されています。まさしくお年寄りから幼児まで広い世代が集う公園となっています。公園に足を運んだ日は、グラウンドで愛犬とフリスビーを楽しむ人、ヨチヨチ歩きの子供を散歩させる若いママと、それぞれに公園を満喫していました。また、大木とはいきませんが茶色の球果をつけた桧葉木が冬の陽ざしをあびており、これらの幼木が大きく育っていくように我が地区も発展していきたいものです。



桧葉の木公園

和して楽しく サークル活動



シルバーコーラス「銀の笛」
金丸 政子

愛好会、シルバーコーラス「銀の笛」がスタートしたのは、二〇〇四年のことで、今まで十五年間続いていきます。発足当時は混声三部でやっていましたが、六年前からは会員減少のため、混声二部で歌っています。大きな声で明るく仲良くピアノに合わせて歌っています。勿論、練習の中で努力を重ねながら、歌唱力の向上を目指しています。いつまでも若々しく健やかに

元気で暮らすために、コーラスに参加してみませんか。いつもと違う時間を、人生後半の生き甲斐として、シルバーコーラス「銀の笛」の活動に参加される事も、意味のある事ではないでしょうか。

私達男女十一名は、これからも昔ながらの童謡から最新の「朝ドラ」の曲まで、そして時には若い時代の遠い青春に立ち返って、懐かしのメロディーなどを楽しみながらこれからも活



シルバーコーラス銀の笛

動を継続してゆきたいと願っています。

これからの生き甲斐はコーラス活動がもたらす、ときめき・感動・感激・そして喜びを見出すチャンスにして下さい。入会を心からお待ちしています。

書いてみませんか

毛筆百錬会
柿本 青史

近年、ワープロやパソコン、スマホの普及で、生活の中から手書きの文字、特に筆の文字は極端に少なくなってきました。

筆文字、書道は読めない漢字やくずした仮名文字が並んでいて、なんか親しめないと思う方も多いでしょうが、シルバー愛好会の毛筆百錬会は、気楽に、色んな筆で、色んな文字や色々な手本を見て、色んな線を引けるように練習をしています。

「穂先が思う方向に向かない」「かすれや滲みがでてしまう」これらの事は毛筆ならではの味わいで、思い通りにならない偶

然性で筆書きの趣が出てきます。筆書きの手紙や葉書は、それだけでぬくもりと心を感じるものです。毛筆百錬会では、一年間の成果としてシルバー文化祭に展示作品を出しています。文化祭の後は筆供養祭りで親睦を深めています。茶話会、観桜会等々もあります。

毛筆百錬会ではメンバーを募っています。研修会は、原則として毎月二回、第二、第四水曜日に、第一小学校隣のまなび



毛筆百錬会



つながり

多員の健康・趣味

館で、午後一時から行っています。「筆字を書いてみたいなあ」「子筆で色々かいてみたいなあ」「筆と墨で遊んでみたいなあ」「孫と一緒に書いてみたいなあ」と思われる方は、お気軽にお問合せ頂き、まなび館に見学においでいただければと思います。

健康からもらった宝物



南沼原地区
加藤 裕

最上観音巡礼、昭和最後の御開帳を皮切りにして、四寺回廊、会津の三観音、恐山、永平寺、

関東三大師等、平成の最後の年まで、何度となく廻り、観音さんのお姿を拝する機会をいただいた。これと並行して、京都の洛陽三十三観音巡りを行い、十月三日、ようやく「特任先達」の称号を拝領するに到った。三十三間堂・中尊の御前で、「任」の一文字を描いた証書を手にする事になった次第である。この席に座するまで御朱印帳五冊。真夏の京都を何度歩いたことか。千日回峰行の行者さんより、御加持をいただいたこともあった。

最上巡礼も同じだが、御朱印をいただく時には、特に胸に来るものがある。「常行三昧」の結果につながり、大変感動をおぼえる。特に、今でもよみがえるのは、二月の中旬頃。早朝の東寺の五重塔が、朝日を浴びてうす紫に染まる情景。おそらく、平安の昔、空海も眼にしたであろうと思われる景色。何となくではあるが、健康であればこそ、と感じている。接していただいた方々への感謝を忘れることな

稿 寄 金井・大郷地区研修会 無事終わる

金井地区
今田 一夫

く、「同行二人」の心を持ちたいと願うのみである。

良いです。来年の会を楽しみに、無事終了しました。



金井・大郷地区ボランティア活動



**鈴木広志 那須 博 加藤洋一
片山博雄 神保孝一**
済生館前駐車場・地下駐輪場管理業務

済生館前駐車場・地下駐輪場を訪問し、リーダーの鈴木さんと当日就業されている四名の会員さんから業務内容をお聞きしました。就業時間は駐車場管理が、前勤七時三十分～十四時、後勤が十三時～十九時三十分の二交代制で二人勤務。駐輪場管理が十一時～十七時三十分まで一人勤務。一班五名の二班体制で計十名の会員が二日勤務二日休みで年間を通して就業しています。通常業務としては、駐車料金の徴収・料金精算、回数券・定期券の販売・管理や場内の巡回と清掃。冬季は場内や出入口付近の除雪作業もあります。これとは別に、粉塵・土砂等除去のため春と秋の年二回、七階までの全駐車場の床洗浄を各十二日間（一日当たり三時間）かけて行っており、その時期は通常業務にプラスされるため大変だと



済生館前駐車場

のことでした。特に、病院に隣接した駐車場の特殊性から患者さんやご家族の利用者が多く、巡回の際には気を付けて見回っております。時には車椅子の介助や一緒に駐車した車を捜してあげたり、満車の際には誘導整理などで感謝される事もあるそうです。思った以上に多岐にわたる業務に精力的に就業されている様子が印象的でした。最近のコロナウイルス感染症等衛生面には特に気を付けていただきたいです。これからも体調管理に留意されて安全就業を願っております。

(取材・広報部)

就業会員を訪ねて

調理補助業務 榊 京子
特別養護老人ホームやすらぎの里金井

山形市内表にある社会福祉法人妙光福祉会が運営するやすらぎの里金井を訪問し、請負で就業する六名の会員の一人、榊京子さんの姿を拝見してきました。

まず事務所にご挨拶をして寒河江課長さんの案内で榊さんとミーティングルームでお会いし、就業までのいきさつや業務内容をお聞きしました。榊さんは、調理補助業務が希望で、昨年十月から就業しており配属先もお気に入りの様子でした。

お茶をいただいたあと、さっそく仕事場へ案内してもらいましたが、リビングルームと対面式のキッチンがセットされ、内装も家庭的な雰囲気です。紅花の入居者十名を担当します。

昼食の時間が近づきましたので、早速、入居者ひとり一人に合わせ管理栄養士が作ったメニューのパウチ（パック



やすらぎの里金井

された食物)を湯せんで温めたり、食べやすいように加工する作業をマニュアルに沿って手際よく進めていきます。食事制限がある入居者がいるため取り違いがないように注意が欠かせません。

就業時間は十時から十三時までですが、食事時間は定時の時ばかりではありません。こちらの施設は、会員に対するサポート体制がしっかりしており、安心して働きたいのある所と満足そうです。

「食べ物を預かる所なので、自身の健康と衛生面には特に気を使っています。小柄な体に半袖のポロシャツ姿が若々しく映りました。

(取材・広報部)

シルバーに

人あり 技あり

心あり

水彩画に魅せられて



鈴川三地区

松田 明子

二十二年間に亘り、水彩画に... 始められたきっかけは、趣味で作る粘土細工の色付けに納得がいかず、絵画教室に通いだしたことだそうです。その後、尊敬できる二人の師に巡り会えたことで、眠っていた才能が開花されたのでしょうか。

自宅がアトリエで、山形県内

の原風景を写真に撮り水彩で描いた数多くの作品が、松田さんの笑顔と



農機具Part2

共に私共を迎えてくれました。その描写手法は写実主義の本道であり、水彩画特有のみずみずしく優しいタッチの中にも、凛とした力強さを感じました。「まだまだです。」と謙遜されますが、正にプロ並みの出来映えと思えます。

現在制作中の作品は、過去に入選経験のある、毎年開催される公募美術団体の一水会展への応募作で、キャンバス寸法は八十号(一四五五×一一二〇mm)と極めて大きく、完成までには、下絵に一ヶ月・色塗りに二ヶ月、計三ヶ月程を要するそうです。「入選した暁には、夫婦同伴での東京都美術館への展示会訪問が楽しみ。」と、はにかみながらお話される松田さんがとても素敵でした。

今回の掲載写真は、敢えて静物画を選ばせていただきました。昔の農機具である唐箕・千歯こき等を描いた作品は、皆さんを昭和のノスタルジーへ誘ってくれることでしょう。松田さんの今後益々のご活躍をお祈りしております。

(取材・広報部)

新入会員紹介

第二地区	渡辺 保夫	飯塚・樫沢地区	高橋 益
第三地区	齋藤千衣子	内田 義見	
第四地区	岡崎 辰美	齊藤憲太郎	
第五地区	飯沼 悦子	佐藤 勝雄	
第六地区	小山 哲夫	樋田 恭子	
第七地区	佐藤かおる	岸 正弘	
第八地区	鈴木 哲雄	渡部 幸一	
第九地区	齋藤 伸一	滝山二地区	小林 恵
鈴川一地区	酒井 昌男	高山 寛子	
鈴川二地区	井上みち子	月田 礼子	
鈴木一地区	青木 功	金井地区	柴田貴美子
鈴木二地区	荒井 藤樹	大郷地区	花等 久子
沖津	鈴木 龍子	松田 エク	
森川 仲	菊代	伊藤よし子	
菊地 政美		堀川きみ子	
菊地 秀子		佐藤 澄子	
高橋 譲		小笠原義秀	
三浦喜代子		杉坂富美子	
多田 政子		渡部 圭子	
高梨 秀昭		岡澤 智子	
安達 静江			

事務局だより

(協)山形市シルバー人材センター

山形市双葉町一丁目二番二号
電話(0)23(6)471647

URL: <http://web.sjrc.ne.jp/yamagata>
E-mail: yamagata@sjrc.ne.jp

年度替えの手続きについて 更新と退会手続きを お早めに!

年度替えになり、会員の更新手続きの時期です。世話役の方々に会費の集金をお願いしておりますので、会費の納入をお願いいたします。

また、退会される方は、退会手続きが必要となりますので、各地区班の班長までご連絡をお願いいたします。

年度会費は傷害保険料に充当

会員の皆さんからいただいている年度会費(会員互助会除く)の主な使用内容については左記のとおりです。

会員傷害保険料(一人あたり)

二千百九十円

総会議案書・会報印刷費等

九百円

(うち、二百十円を充当)

お知らせと お願い



配分金支払日

四月二十日(月)

五月二十日(水)

六月十九日(金)

入会説明会(午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いします。

四月九日(木) 十六日(木)

二十三日(木)

五月八日(金) 十四日(木)

二十一日(木)

六月四日(木) 十一日(木)

十七日(水)

就業相談日(午後一時三十分)

(就業に関しての相談です)

四月八日(水)

五月十三日(水)

六月三日(水)

受付は午後一時十五分からです。

地域の総合健診は 必ず受けよう!

健康でなければ良い仕事はできません。各地区の総合健診を受診して、健康管理に努めましょう。

センター緊急連絡先

〇九〇一六二五五
一五三〇二

土日・祝日に事故等が発生した場合の緊急連絡先です。また、会員証と一緒にお渡しする緊急連絡カードは、就業の際必ず携帯するようお願いいたします。

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

南山形・本沢地区

芳賀 清さん(七十四歳)

金井地区

武田 正造さん(七十歳)

あ と が き

温かい日差しと共に、桜の開花ニュースが伝わってくる季節となりました。今年度は、当センターが昭和五十五年十月に開設し、記念すべき「四十周年」を迎えます。会報発行も、昭和五十七年に発行を開始し、諸先輩会員の皆様の、努力の積み重ねにより、本号に至っております。

現在、取り巻く社会環境は、少子高齢化による人口減少が進む中で、働き手不足問題があり、より支援が必要となってきました。一方、現職者の方には定年延長、年金受給時期、働き方改革等が課題として取り上げられています。会員の皆様方におかれましては、時間にゆとりの出来た人生の活躍が期待されています。又、広報部会も各情報等を共有し、一層身近な広報づくりに努めますので、皆様のご協力をよりしくお願い申し上げます。

(I・M)